

Buddhist ruins exploration record at silk road シルクロード仏教遺跡探訪記

15日目【2000年4月28日】

全37日間

なんとこの時期に雪が〈武威～張掖〉前半

今朝8時に武威の町を発ち、13時過ぎに張掖に到着した。ここはさらに小さな町である。

駅に降り立つと、かなりの寒さに震えた。列車は標高の高い所を走っていたのか、途中猛吹雪で窓から景色が見えないくらいであった。

当然、列車内は、今日も冷え込み厳しく、しかもシートは硬座。寝台部分は狭く、汚れている。横になると、背中に痒みを感じた。

ここ張掖の町は、駅から6キロくらいの所に、2キロ四方の街が形成されている。

目星を付けていたホテルにチェックインを済ませ、いつものように、先ず鉄道のチケットを取得しに、ホテル内の旅行会社に行った。今回も硬座しか取れないと言われ、渋々そのチケットを買った。

どうして、硬座のシートしか買えないのかと言うと、中国の鉄道は大きな町以外はオンライン化されておらず、



手配されたタクシーと運転手



張掖の旅行会社オフィス



硬座の寝台シート

その駅から片道の硬座しか売り出さないのこと。軟座のチケットは誰も買わないから、その駅には割り当てられてないそうだ。こちらの鉄道事情が、ようやく分かってきた。

住職レター

門徒さん宅の報恩講参りが、連日続きます。寺によっては、寺の本堂での報恩講までに、一カ月とか短期間で、門徒さん宅の報恩講を勤め終えてしまうところもあります。善教寺では、梅雨時期から夏期以外、長期間に亘って参勤しております。

報恩講の参勤案内は、寺の方から、お参りの日時を通知します。私が住職になった頃は、各地区の世話人さんに、電話で連絡をしておりました。その世話人さんが、地区内の全門徒さん宅へ、「〇月〇日の〇時頃に報恩講です」と、一軒ずつ連絡を入れて下さっていました。

今は、寺の方から、ハガキで報恩講参りの連絡をします。有り難いことに、年に一度の報恩講を、楽しみにして下さる方もいらつしやいます。中には、報恩講とは何か、知らない方もいらつしやいますが、勤めるのが当たり前だからと言われます。

先日、報恩講の読経を終え、その家の方と話をしました。お父様が亡くなられ、その方は、まだ現役で仕事をされています。報恩講当日は、仕事を休まれました。話を聞きますと、報恩講

は、亡くなったお父様からの遺言だったそうです。遺言というが大袈裟な感じですが、その方のお父様が亡くなられた時、『死後にやること』に記されていたのが、『報恩講を勤めなさい』という指示だったとのこと。

遺言状に、『報恩講を勤めなさい』と記すのは、なんとも粋ですね。

善教寺では、毎年十二月二日に、報恩講を勤めます。今年は、武士地区の皆さまがご接待して下さいますので、楽しみにご参り下さいね。



報恩講の前に御手植松を剪定してもらいました

Buddhist ruins exploration record at silk road シルクロード仏教遺跡探訪記

15日目【2000年4月28日】

全37日間

なんとこの時期に雪が〈武威～張掖〉後半

先を急ぐ訳ではないとは言え、本来の予定では、もう既に敦煌に入っている頃であった。未だ河西回廊の真中である。疲れが溜まってきてはいるが、なんとか気持ちを奮い立たせて、明日にはまた出発する予定である。

疲れた体で、この町から南へ70キロほど行った所にある、馬蹄寺石窟に行ってきた。ここはどうしても行きたかった石窟である。遠くなので、丸一日は必要かと思っていたら、旅行会社の人が、ホテルに夜9時頃、帰着で良ければ、今から手配すると言ってくれた。



石窟近くの食堂で夕食を取る



馬蹄寺石窟

馬蹄寺石窟は祁連山の麓に作られた石窟群で、内部をアリの巣のようにくり抜き、元から明代にかけて作成された壁画が残っている。時間が遅かったので、観光者は私一人だった。石窟の中は薄暗く、物取りに襲われないか、気味悪さを感じた。

今日は雪が降っていた。タクシーの運転手が、この時期にしては珍しいと言っていた。万年雪をいただいた祁連山脈と、この石窟のコントラストが映えて、絶景であった。

夜9時前にホテルに帰って来た。かなり疲れている。明日はまた硬座で移動である。フーと、深いため息が出た。



南無阿弥陀仏と書かれた石窟



石窟の内部

今後の法要スケジュール

「報恩講」(善教寺本堂)

十二月 二 日(火曜日)

午前10時 朝席
午後1時半 昼席

午後3時半 法要終了

講師 吉盛大智師(黒瀬町西教寺)

＊お接待当番 武士地区

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要」(善教寺本堂)

十二月 十六日(火曜日)

午後1時半

＊毎月十六日に本堂において勤めております。

「除夜会」(善教寺鐘楼堂)

十二月三十一日(水曜日)

午後十一時四十五分

＊鐘楼堂にて除夜の鐘を撞きます。

「元旦会」(善教寺本堂)

一月 一日(木曜日)

午前七時

「御正忌」(善教寺本堂)

一月 十日(土)

午前10時 朝席
午後1時半 昼席

午後3時半 法要終了

講師 長尾量之師(黒瀬町浄願寺)



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp